

News Release



2000・環境アニュアルレポートの発行について

平成12年6月30日
北陸電力株式会社

当社では、このたび1999年度の環境保全活動の実績を「環境アニュアルレポート」として取りまとめましたのでお知らせします。

本レポートは、経営方針の重点事項の一つに掲げた「地球環境に優しい経営活動の展開」に基づいて取り組んでいる地球温暖化問題への対応、資源の有効活用、地域と一体となった環境保全活動などの幅広い活動実績を記載したもので、1994年度から毎年発行しており、今回で7回目となります。

1. レポートの概要

レポートは、当社が環境管理規程(社内規程:1997年9月制定)に基づき毎年策定している「北陸電力環境管理計画」の管理項目毎に章だてし、各施策の実績をグラフ、図、写真で見やすく掲載しています。

「1999年度北陸電力環境管理計画」に掲げた管理項目26施策中、21施策で目標を達成しました。(別紙 1999年度北陸電力環境管理計画実績参照)

2. 1999年度の主な成果

(1) 地球温暖化問題への対応

当社は、志賀原子力発電所2号機の着工、火力発電所熱効率の向上、既設水力の改修による出力増加などCO₂の排出抑制に取り組みました。

なお、CO₂排出量は原子力発電比率が計画を下回ったため(計画21%、実績16%)、排出原単位が0.459kg-CO₂/kWhとなり、目標値の0.394kg-CO₂/kWhを上回りました。

また、豪州のアルカリ・塩化土壌を改良した植林の研究など、CO₂の吸収・固定を目的とした植林の検討を行っています。

(2) 資源の有効利用の推進

事業活動に伴って発生するさまざまな産業廃棄物の有効利用率は、98年度実績の95%を上回る98%となりました。これは、石炭火力から発生する石炭灰(クリンカ)の路盤材などへの有効利用がさらに進んだことによります。

(3) 地域と一体となった環境保全活動の推進

当社が中心となって推進している北陸地域のオフィス古紙リサイクル活動が、G8の地球温暖化対策ベストプラクティスに選定されました。

また、この活動の経験を基に、機密・保存文書をリサイクルする会社(株式会社 ジェスコ)を設立しました

また、富山・石川・福井県内の子供たちが参加する「どんぐりの植樹」活動(どんぐり拾いから栽培、植樹まで)、人形劇、ケナフによる啓発活動などを行いました。

(4) 環境管理の推進

1998年度の富山新港火力発電所に引き続き、志賀原子力発電所では1999年12月に環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格ISO14001の認証を取得しました。なお、武生支社は2000年度中にISO14001の認証取得を目指しております。

また、これまでに火力・原子力発電所、支店へのEMSの導入が完了しており、今年度から5支社へ導入し2001年度中には当社のEMS構築が完了することになります。

(5) 環境マインドの高揚

グリーン調達への定着・拡大を図るため、消耗品等の購入にあたってのガイドラインや製品リストを社内パソコンに掲示し、環境への負荷が少ない製品を優先的に調達しました。

(6) その他

環境庁の「環境会計システムの導入のためのガイドライン(2000年版)」を参考に、当社の環境保全投資額及び費用額を試算しました。投資額は約130億円、費用額は約200億円で、公害防止コストや社会活動における環境保全コストが主となっています。環境保全対策の主な効果は、SO_x、NO_xの排出抑制、廃棄物有効利用率向上、SF₆回収率の向上等が挙げられます。

また、PRTTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)に基づく報告に先立ち、今年度から当社の化学物質の排出・移動量の調査結果を公表しました。

以上が、2000 環境アニュアルレポートの主なポイントです。本レポートを
ご覧になった皆さまからの率直なご意見をたまわることができれば幸いです。

以 上

1999年度北陸電力環境管理計画実績

項目	取組課題	施策	1999年度目標	1999年度実績
地球環境問題への対応	1. 地球温暖化防止	CO ₂ 排出量の抑制	0.394kg-CO ₂ /kWh	0.459kg-CO ₂ /kWh
		<ul style="list-style-type: none"> ・原子力発電比率の向上 21% (自社分11%) ・火力発電所熱効率の向上 38.8%以上 ・既設水力改修による出力増加 5,100kW ・送配電損失率の抑制 4.9% ・太陽光発電の実証導入 154kW(累積) 		<ul style="list-style-type: none"> 16% (自社分11%) 39.4% 5,100kW 4.9% 154kW(累積)
	2. オゾン層保護	省エネルギーの推進	700件	928件
		<ul style="list-style-type: none"> ・お客さまへの省エネルギーコンサルティング強化 ・自社ビル電力使用量の抑制 ・社用車等の燃料使用量抑制 その他温室効果ガス排出の抑制 ・SF₆回収率の向上 	1.0%減(気温補正・対前年度比) 燃費1%向上	3.6%減(気温補正・対前年度比) 燃費0.8%低下
地域環境問題への対応	1. 大気環境保全	S0x・NOx排出量の抑制	0.4g/kWh程度	0.37g/kWh
		S0x NOx	0.3g/kWh程度	0.31g/kWh
資源有効活用推進	1. リサイクルの推進 2. プレサイクルの推進	産業廃棄物有効利用率の向上	95%	98%
		ペーパーレス化の推進	39%減 (対1995年度比)	23%減 (対1995年度比)
地域と一体となった環境保全活動の推進	1. 地域古紙リサイクル活動の充実・拡大 2. 地域への環境情報の提供	北陸3県オフィス古紙リサイクルの推進	2,050t (古紙回収量)	2,549t (古紙回収量)
		環境月間等行事の開催及び協力	55回	56回
		アニュアルレポート・インターネットによる公表	2回	2回
研究開発	1. 地球温暖化問題に関する研究 2. 新エネルギーの研究 3. 循環型社会構築の研究	CO ₂ の回収技術の研究	回収エネルギーの低減	横置型向流接触伝熱装置の性能評価
		CO ₂ の処分技術の研究	置換速度の把握	置換速度の把握
		溶融炭酸塩燃料電池(MCFC)の研究	不純物が入り下での影響評価	不純物が入り下での性能確認
		生ごみリサイクルシステムの研究	システム構築	堆肥化技術確立、栽培試験実施
環境マインドの高揚	1. 従業員教育の充実	環境セミナーの開催	20回	32回
環境管理の推進	1. 環境マネジメントシステム(EMS)の社内展開 2. 環境管理の充実	EMSの認証取得	志賀原子力発電所	志賀原子力発電所
		EMSの構築	4火力発電所 3支店	4火力発電所 3支店
		環境管理推進責任者会議の開催	4回	3回